

講演概要集の有償頒布について

会 告

講演概要集は和文会誌「鉄と鋼」の中に含め（普通号 12 冊，講演概要集 4 冊，計 16 冊）発行してまいりましたが，毎年出版費は増加の傾向にあります。本会では財政の安定化を図るため種々検討を重ねてまいりましたが，昭和 62 年 10 月 9 日開催の臨時総会におきまして，講演概要集を和文会誌から分離し，独立した定期刊行物として有償頒布することが決定いたしました。

誌名，発行形態，頒布価格等は次のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

1. 誌 名 和文名 「材料とプロセス」(日本鉄鋼協会講演論文集)
欧文名 Current Advances in Materials and Processes (Report of the ISIJ Meeting)
略 称 CAMP-ISIJ

2. 発行形態

春秋とも各 3 冊 計 6 冊，Vol. および No. を付し定期刊行物として発行する。

(例) 昭和 63 年春季大会の場合

Vol. 1, No. 1 (製鉄，製鉄・製鋼共通，製鋼，関連討論会)

〃 No. 2 (萌芽・境界領域，加工・システム・利用技術，分析・表面処理，関連討論会)

〃 No. 3 (材料の組織・性質，関連討論会)

昭和 63 年秋季大会の場合

Vol. 1, No. 4

〃 No. 5 } 部門は上記に同じ

〃 No. 6

3. 会員価格

頒 布 方 法	冊 数	価 格 (円)
全冊年間予約 (送料込み)	6 (春秋各 3)	5,000
選択年間予約		
No. 1, 4 (送料込み)	2 (春秋各 1)	2,000
No. 2, 5 (送料込み)	2 (春秋各 1)	2,000
No. 3, 6 (送料込み)	2 (春秋各 1)	2,000
予 約 以 外 (送 料 別)	1 (各分冊共)	2,000

※ 予約はいずれも春秋とも同種の論文誌を各 1 冊計 2 冊をセットとして，入金をもって受付け，会員は同種の論文誌を 2 冊以上予約することはできない。

第 14 回日本学術会議会員の本会選定候補者推薦のお願い

日本学術会議会員の選出制度は第 13 期 (昭和 60 年 7 月) より従来の公選制から登録学術研究団体による推薦制に変更されています。

本会は 6 月末に登録申請を行い，関連研究連絡委員会としては第 5 部金属工学研連を届け出ました。

登録申請が認定されればその研連の定数 (金属工学研連は 3 名) 以内の学術会議会員候補者を届け出ることができます (締切 昭和 63 年 2 月 1 日)。

研究連絡委員会ごとに各学術研究団体から届け出た推薦人が集まって，各団体が選定，届け出た会員候補者のうちから，定数の会員と補欠の会員 1 名を選定し推薦することとなります。

登録学協会が学術会議会員候補者を選定する方法は学協会の自主性に委ねられていますが，本会では次の手順によることにします。

1. 学術会議会員の本会選定候補者となることを希望する会員¹⁾ (学生会員，外国会員を除く) は所定事項²⁾ を記載した書面により今回 (第 14 期) は本年 10 月 31 日までに本会事務局に届け出る。他薦も可。
2. 本会に学術会議会員候補者・選定委員会を設け 1 により申し出た者のうちから候補者 (案) を選定する。
3. 選定委員会で選定した後，理事会の議を経て会長から学術会議会員候補者として日本学術会議に届け出る。

注 1) 専門とする科学または技術の分野において 5 年以上の研究歴を有し，優れた研究または業績がある科学者であることが必要。

注 2) 候補者の氏名，住所，生年月日，本籍，勤務機関および職名，勤務地，最終学歴および研究歴，主要な研究論文，業績報告等の一覧，所属している学術研究団体，他薦の場合はこのほか，推薦者の氏名，住所，勤務機関，職名および推薦書。

第 115 回 (昭和 63 年春季) 講演大会講演募集案内

申込み (原稿同時提出) 締切り 昭和 63 年 1 月 8 日 (金)

本会は第 115 回講演大会を昭和 63 年 3 月 31 日 (木), 4 月 1 日 (金), 4 月 2 日 (土) の 3 日間千葉工業大学 (千葉県習志野市) において開催することになりました。下記により講演募集をいたしますので、奮ってご応募下さいませようご案内いたします。

— 今大会より変更された事項 —

- (1) 講演論文集の発行形態が変更されます。
春秋各 3 冊, 有償頒布となります。
- (2) 本文中の題目に英文を付す。また脚注に第一著者ならびにその連絡先を英文で記載する。
- (3) 講演申込分類が一部変更されました。

講演ならびに申込み要領

1. 講演内容 1) 別記 13. 「講演申込分類表」の学術・技術に直接関連あるオリジナルな発表
2) オリジナルな研究のほか, 委員会において企画した総説, 解説等の講演
2. 講演時間 1 講演につき講演 15 分
3. 講演概要原稿 1) 原稿は目的, 成果, 結論が理解しやすいよう簡潔にお書き下さい。
2) 設備技術に関する原稿には計画にあつての基本方針, 特色, 成果等が必ず盛込まれているものとする。
3) 商品名・略号等は表題ならびに本文いずれにおいても原則としてご遠慮願います。
4) 本文中の表題には英文を付し, 第一著者の氏名, 連絡先の英文名を脚注に記載する。(225, 226 ページの記載例を参照する)
5) 連報形式講演の表題は下記の例に従つて記載する。
2 次元溶鋼流れの電磁制動に関する実験と解析
(溶鋼流れの電磁制動に関する基礎的研究-1)
Experiment and Analysis on the Electromagnetic Brake in the Two Dimensional Steel Flow (Study on the Electromagnetic Brake of Molten Steel Flow-1)
6) 図, 表, 写真中の表題ならびにその中の説明は, 英文といたします。
7) 謝辞は省略して下さい。
8) 原稿枚数は原則として所定のオフセット用原稿用紙 (1600 字詰) 1 枚とします。しかし内容的にやむを得ない場合は 2 枚まで認めます。(いずれも表, 図, 写真を含む) ただし編集委員会で査読のうえ 1 枚にまとめなおし願うことがありますのであらかじめご了承下さい。
9) 原稿はワープロ, タイプ印書あるいは黒インキまたは墨を用い手書きとして下さい。
10) 単位は「鉄と鋼」投稿規程に準じます。
11) 原稿用紙は有償頒布いたしております。

4. 講演申込み資格

講演者は本会会員に限ります。非会員の方で講演を希望される方は、所定の入会手続きを済ませたうえ、講演申し込みをして下さい。また共同研究者で非会員の方も入会手続きをされるよう希望いたします。

5. 講演申込み制限

- 1) 講演申込みは1人3件以内といたします。
- 2) 連続講演は原則として一講演会あたり3報までとします。ただし連報形式として申し込まれてもプログラム編成の都合により連続して講演できない場合がありますのでご了承下さい。

6. 申込み方法

本誌会告末に添付されている講演申込み用紙ならびに受理通知葉書に必要事項を記入の上、講演論文原稿とともに申し込み下さい。

7. 申込み用紙の記載について

- 1) 申込み用紙は(A)、(B)、(C)とも太字欄をのぞき楷書でご記入下さい。(申込み用紙および受理通知葉書は本会告末に綴り込まれております。)
- 2) 講演申込分類の記載
講演プログラム編成上の参考ならびに講演論文集への掲載分冊の参考といたしますので「講演分類欄」(A、C)に講演内容が、「13. 講演申込分類」のいずれに該当するか、分類番号を必ずご記入下さい。また、指定テーマの講演をお申し込みの場合は、申込用紙「特記事項」欄に指定テーマ名をご記入下さい。
- 3) 講演者には氏名の前に○印を、また研究者氏名には(A)は会員番号を、また(C)はフリガナを付して下さい。
- 4) 講演要旨(C)は、データ・ベース入力原稿となりますので講演内容が明確に把握できるようおまとめ下さい。

8. 申込みの受理

下記の申込みは理由のいかんにかかわらず、受理はいたしませんので十分ご注意下さい。

- 1) 所定の用紙以外の用紙を用いた申込み
- 2) 必要事項が記入されていない申込み
- 3) 単なる書簡または葉書による申込みならびに電報、電話による申込み
- 4) 鉛筆書き原稿、文字が読みづらいもの、印刷効果上不適当と認められるもの
- 5) 表題および、第一著者の氏名、連絡先の英文が付されていないもの
- 6) 図、表、写真が英文でないもの

9. 受理後の取扱い

- 1) 応募講演に対しては受理通知を送付いたします。
- 2) 応募講演原稿は編集委員会において査読いたします。なおその結果修正などを講演者に依頼することがあります。
- 3) 採用の決定した講演は、2月下旬に講演プログラムが決定し、3月上旬発行の「材料とプロセス」(日本鉄鋼協会講演論文集)に掲載されます。
- 4) 3月上旬以降に各講演者には講演に当たつての注意、スライド作成方法ならびに、ネームカード等を送付いたします。

10. 講演原稿取り下げ プログラム決定後の講演原稿の取り下げはお断りいたします。

11. 申込み締切日 昭和63年1月8日(金)17時着信まで

申込み用紙、講演概要原稿および原稿受理通知葉書を同時提出のこと。

12. 申込み先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 (社) 日本鉄鋼協会編集課
問合せ先 (電) 03-279-6021 (代)

13. 講演申込分類表

(注1) 講演申込書の「講演分類欄」に下記講演分類のいずれに該当するか、必ず番号を記入下さい。

(注2) 講演申込分類の変更

講演プログラムの編成に当たって、討論がより活発になり、また聴講者にとつても有益だと考えられる場合は、編集委員会の判断で講演申込分類を変更する場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。

(注3) 講演申込に当つて不明な点がございましたら、上記へ問い合わせ下さい。

講演申込分類

掲載部 載号・門 分類番号	No. 1 (春季), 4 (秋季)											No. 2 (春季), 5 (秋季)												No. 3 (春季), 6 (秋季)											
	製 鉄			製鉄・製鋼 共通				製 鋼				萌芽・境界領域					加工・システム・利用 技術							分 析 ・ 表面処理				材料の組織・性質							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
項 目	原料・燃料	製 錬	その他	高温物理化学(*1)	新製鉄法(溶融還元を含む)	溶鉄処理	耐火物・スラグ	その他(*1)	精 錬(*1)	鑄造・凝固(*1)	その他(*1)	チタン	セラミックス・接合	粉末・急冷金属	複合材料	新素材・新プロセス(*2)	圧延・精整	加熱・冷却	成形加工(*3)	鑄造加工・粉末加工	計測・制御	システム・情報処理	溶接・鋼構造	その他	分 析	表面処理・防食	環境管理	その他	基礎物性	熱処理・組織	強度・靱性・破壊	塑性・加工性	高温特性	腐食・耐食性	その他

*1) 従来の電磁気利用、センサーの利用はこれらに含める。

*2) 超塑性材料、磁性材料、超電導材料、電子部品材料、形状記憶合金、水素吸蔵・透過合金、金属間化合物、医用材料、センサー素子、電磁気冶金、新製精錬、新凝固、エネルギー転換法、その他

*3) 板成形、鍛造、押出し、引抜き、曲げ、剪断・切削、ロール成形など

14. 第 115 回講演大会指定テーマ (注) 指定テーマの講演をお申し込みの場合は、申込用紙中の「特記事項」欄に指定テーマ名を必ずご記入下さい。

萌芽・境界領域部門指定テーマ

《複合材料》

指定テーマ(複合材料)に関しては、金属系、非金属系にとらわれることなくすべての複合材料の製造技術の研究と、その製造法が特性に及ぼす影響についての研究に関する講演を募集します。

萌芽・境界領域部門指定テーマ

《セラミックス》

指定テーマ(セラミックス)に関しては、構造用セラミックスを中心に、焼結、成形、加工などの製造技術および成形体の特性と評価法についての講演、ならびに金属-セラミックス接合に関する講演を募集いたします。今回は、下記の依頼講演を企画しております。

“ファインセラミックスのプロセッシング” 日本鋼管(株)中央研究所副所長 宮下 恒雄

——萌芽・境界領域部門指定テーマ——

《超電導》

酸化物系高温超電導物質に関するブームはやや下火になつたとする見方もありますが、線材、薄膜などの形で材料として完成させるのは、これからの長期的課題であります。一方現在実用化されている超電導線材は金属系であり、また超電導機器の構造材料としてはステンレス、非磁性鋼、チタンなどが対象となつております。

指定テーマ「超電導」に関しましては、酸化物系あるいは金属系超電導材料をはじめとして低温用構造材料、磁気シールド材料など超電導技術の工業化にかかわる各種材料を幅広くとらえ、製造技術あるいは利用技術などについて基礎から応用にわたる講演を募集いたします。

なお本テーマにつきましては、応募講演のほかに次の依頼講演を予定しております。

「超電導技術を支える各種材料と今後の課題」(仮題、講師未定)

——加工・システム・利用技術部門指定テーマ——

《鋼構造物》

鋼構造物材料(鉄鋼、非鉄、コンクリート等とのハイブリッド)のユーザーとメーカーとの積極的な技術交流・討論の機会を設けることを目的とし、第115回講演大会では以下の依頼講演を企画しております。

“東京湾横断道路の設計について” 東京湾横断道路(株)設計部長 深澤 邦男

“高層鉄筋コンクリート建築の設計施工の現状” 東京大学工学部建築学科教授 青山 博之

応募講演として、上記講演テーマである「橋梁」、「建築」に関連する分野を中心に、その他、鋼構造物の材料(金属、コンクリートとの複合など)とその構造、施工の基礎から応用にわたる技術に関する講演を広く募集いたしますので、ユーザー、メーカーからの奮つての参加をお願いいたします。

15. 講演原稿の書き方(次ページ原稿見本参照)

- 1) 和文題目の下に英文題目を記載して下さい。
- 2) 脚注に第一著者の氏名、連絡先の英文を記載して下さい。
- 3) 表、図、写真の表題ならびにその中の説明は英文といたします。

和文題目
英文題目
所属・研究社氏名(和文)
本 文
第一著者氏名・連絡先(英文)